

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年2月13日
【四半期会計期間】	第31期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社データホライゾン
【英訳名】	DATA HORIZON CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 内海 良夫
【本店の所在の場所】	広島市西区草津新町一丁目21番35号 広島ミクス・ビル
【電話番号】	(082) 279 - 5525
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内藤 慎一郎
【最寄りの連絡場所】	広島市西区草津新町一丁目21番35号 広島ミクス・ビル
【電話番号】	(082) 279 - 5525
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内藤 慎一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第3四半期連結 累計期間	第31期 第3四半期連結 累計期間	第30期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	1,315,237	1,247,655	2,204,925
経常利益又は経常損失() (千円)	164,382	212,341	106,448
四半期純損失()又は当期純利益 (千円)	71,018	177,247	77,821
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	71,518	177,445	76,692
純資産額(千円)	1,017,189	876,070	1,114,435
総資産額(千円)	1,432,192	1,379,621	1,650,659
1株当たり四半期純損失金額() 又は当期純利益金額(円)	19.97	50.96	21.95
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	21.90
自己資本比率(%)	71.0	63.5	67.5

回次	第30期 第3四半期連結 会計期間	第31期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純損失金額() 又は四半期純利益金額(円)	0.33	22.53

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 第30期第3四半期連結累計期間および第31期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
4. 第30期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成23年6月28日をもって解散いたしました株式会社イーメディカルは、平成23年10月24日に清算終了しております。

また、平成24年1月1日付けで、COSMOSYSTEMS株式会社はコスモシステムズ株式会社に社名変更いたしました。（第2 事業の状況においては、社名変更後の名称にて記載しております。）

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、12億47百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

損益面におきましては、当期も売上高が第4四半期に偏重することが予想され、さらに国民健康保険からの受注拡大を目指した体制強化により、販売費が増加したことなどで、営業損失2億6百万円（前年同期は1億63百万円の営業損失）、経常損失は2億12百万円（前年同期は1億64百万円の経常損失）、四半期純損失は1億77百万円（前年同期は71百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医療関連情報事業

当第3四半期連結累計期間における医療関連情報事業の売上高は12億36百万円（前年同期比4.8%減）となりました。また、セグメント利益につきましては、国民健康保険からの受注拡大を目指した体制強化による販売費の増加などで、70百万円のセグメント利益（前年同期比36.3%減）となりました。

売上高の内訳は次のとおりであります。

a 医療関連情報サービス

保険者向け情報サービスの売上高は、ジェネリック医薬品通知サービスが、健康保険組合との契約の多くが前期までに成功報酬から定額制へ移行したことと、レセプトの電子化にともない契約単価が低下したことにより、3億94百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

ジェネリック医薬品通知サービスの受注状況は、全国健康保険協会（協会けんぽ）が継続して受注しており第4四半期に売上計上する予定です。一方、国民健康保険は、中四国地方を中心に受注保険者数が累計で106件となり順調に増加しておりますが、震災の影響もあり残念ながら大都市からの受注は進んでおりません。

なお、ジェネリック医薬品通知サービスに続く新しいサービスとして提供を開始した生活習慣病の重症化予防サービスの受注は、9件と軌道に乗り始めました。

製薬会社向け情報サービスの売上高は、スポットのサービスの売上計上が第4四半期にずれ込み、27百万円（前年同期比66.1%減）となりました。

この結果、医療関連情報サービスの売上高は、4億21百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

b 医療関連情報システム

保険薬局向けシステムの売上高は、コスモシステムズ株式会社の子会社化の効果と旧バージョンの保守期限到来による買い替え需要の拡大などで、5億28百万円（前年同期比97.8%増）となり、病院向けシステムの売上高は、取扱いシステムの増加などで2億25百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

また、その他の医療関連情報システムの売上高は、震災の影響などからソリューション事業が縮小し、60百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

この結果、医療関連情報システムの売上高は、8億14百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

その他

その他の売上高は、主に過去に販売しておりました医療関連以外のシステムのリプレイスなどで、11百万円（前年同期比30.6%減）となり、セグメント利益は1百万円（前年同期比310.7%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は79百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,557,060	3,557,060	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	3,557,060	3,557,060	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	3,557,060	-	454,200	-	154,200

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 78,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,477,600	34,776	-
単元未満株式	普通株式 660	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,557,060	-	-
総株主の議決権	-	34,776	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)データホライゾン	広島市西区草津新町 1-2 1-3 5	78,800	-	78,800	2.22
計	-	78,800	-	78,800	2.22

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	196,969	281,611
売掛金	750,629	240,171
商品	2,123	5,915
仕掛品	14,314	55,142
原材料及び貯蔵品	11,905	12,660
その他	60,392	146,616
貸倒引当金	4,849	1,993
流動資産合計	1,031,484	740,123
固定資産		
有形固定資産	186,308	165,629
無形固定資産		
ソフトウェア	166,966	169,166
ソフトウェア仮勘定	-	66,263
のれん	4,696	3,545
その他	792	792
無形固定資産合計	172,454	239,767
投資その他の資産	260,413	234,103
固定資産合計	619,175	639,498
資産合計	1,650,659	1,379,621
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,508	79,204
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,437	6,437
未払法人税等	25,360	8,429
賞与引当金	45,324	14,147
その他	163,979	169,956
流動負債合計	419,608	378,173
固定負債		
長期借入金	10,980	6,153
退職給付引当金	31,073	36,516
その他	74,562	82,710
固定負債合計	116,616	125,378
負債合計	536,224	503,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	559,793	321,640
自己株式	52,485	52,501
株主資本合計	1,115,707	877,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	75
為替換算調整勘定	1,638	1,981
その他の包括利益累計額合計	1,741	1,906
少数株主持分	469	436
純資産合計	1,114,435	876,070
負債純資産合計	1,650,659	1,379,621

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,315,237	1,247,655
売上原価	864,123	784,541
売上総利益	451,114	463,114
販売費及び一般管理費	614,733	669,698
営業損失()	163,619	206,584
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	312	561
助成金収入	2,856	590
貸倒引当金戻入額	-	2,855
雑収入	945	1,176
その他	11	-
営業外収益合計	4,142	5,199
営業外費用		
支払利息	2,387	2,805
為替差損	1,022	768
持分法による投資損失	969	7,383
その他	527	1
営業外費用合計	4,905	10,956
経常損失()	164,382	212,341
特別利益		
保険解約返戻金	-	9,590
貸倒引当金戻入額	4,397	-
負ののれん発生益	29,679	-
特別利益合計	34,076	9,590
特別損失		
固定資産除却損	629	4,828
投資有価証券評価損	667	-
特別損失合計	1,296	4,828
税金等調整前四半期純損失()	131,603	207,579
法人税、住民税及び事業税	8,498	16,793
法人税等調整額	52,481	47,134
法人税等合計	60,979	30,340
少数株主損益調整前四半期純損失()	70,624	177,239
少数株主利益	395	9
四半期純損失()	71,018	177,247

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	70,624	177,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	550	178
為替換算調整勘定	345	384
その他の包括利益合計	894	206
四半期包括利益	71,518	177,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,924	177,412
少数株主に係る四半期包括利益	406	32

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
連結の範囲に関する事項の変更 当第3四半期連結会計期間より、株式会社イーメディカルは清算終了にともない、連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	77,671千円	83,727千円
のれんの償却額	1,151千円	1,151千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	62,249	17.5	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	60,904	17.5	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	医療関連 情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,298,612	16,624	1,315,237	-	1,315,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,298,612	16,624	1,315,237	-	1,315,237
セグメント利益	110,388	336	110,724	274,343	163,619

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレース等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 274,343千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「医療関連情報事業」セグメントにおいて、COSMOSYSTEMS株式会社の全株式を取得いたしました。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、29,648千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,236,114	11,541	1,247,655	-	1,247,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,236,114	11,541	1,247,655	-	1,247,655
セグメント利益	70,310	1,380	71,690	278,273	206,584

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレース等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 278,273千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	19円97銭	50円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	71,018	177,247
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	71,018	177,247
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,556	3,478

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月10日

株式会社データホライゾン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松原浩平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高山裕三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷宏子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社データホライゾンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社データホライゾン及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。